京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年二千號　元五百七十一年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲一ヶ年前金三圓[illegible]
廣告料　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲[illegible]
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
發行兼編輯人　高木久[illegible]
印刷人　松久[illegible]
發行所　京城新報社
京城西小門通
電話（大三番）
仁川支局　仁川宮町三丁目
東京支局　東京市京橋區[illegible]

殖民地棉花栽培事業の由來（三）

エスケー生

顧つて殖民地棉花栽培事業の沿革に就て見るに、蓋し綿業の勃興に始めて起り、今世紀に入るに及んで英國及び佛國に於て殖民地棉花栽培協會の設立を見、白、伊、露、葡等の諸國に於ても亦之と相前後して其興起を見たるものとす、一八九六年獨逸に於て獨逸殖民地農事協會なるもの組織せられ、獨逸殖民地に於ける一般農業の開發を促がすを以て其目的としたるに、前に記したるが如き世界棉業界の危機は先づ獨逸棉業者の注意する所となり、彼等は大呼して棉花栽培事業の一日も忽せにすべからざるを一般の輿論に訴へしかば、獨逸殖民地農業協會は大に之に耳を傾け、先づ一九〇〇年中同協會より獨領西阿弗利加トーゴーランド及び其他の地方に棉作試驗を企劃し、多少[illegible]有望なるを見て大に計畫しつゝありし折柄、一九〇二年に至り外務省は同協會に對し殖民地棉花栽培に關する一部の經費を補助すると共に政府より少なからざる保護金を同協會に支出したるのみならず政府は更に各殖民地政廳に訓示して其管轄區域内に於ける棉花栽培事業に對し有形無形の保護助力を加ふる事とし、而して一方獨領西阿弗利加中トーゴー、獨領西南阿弗利加並同東部阿弗利加等に於ける棉花栽培事業は年と共に益々良好なる成績を示したりしかば、同協會内に特に棉花栽培委員會を組織し、爾來今日に至る迄は棉作技師を北米合衆國より傭入れて之を殖民地棉作地に派遣し、或は殖民地に於て棉作に從事する土人の使用する農具改良に盡力し、或は棉作地の所々に模範棉作地を設置し若くは土人中より斧良なる模範棉花人を養成するの目的を以て棉作學校を起し、其他本國政府及び殖民地政廳に交渉して棉作地に於ける鐵道敷設に鋭意し、又は棉花相場の暴落を防ぎ、土人棉作人等に安心を與ふる爲め協會に於て一年度中一定の相場を以て棉花を買入るゝの方法を講ずる等、凡ろ未開地に於ける棉作奬勵に對しては有らん限りの方法を盡し、之が資金としては醵集金の外に政府の保護金あり、

雜報

●在鮮内地人縣別

最近朝鮮に於ける内地人の府縣別人口如左

山口一九、五九四長崎一五、三三五九福岡一二、六九七廣島一一、一五三三大分八、九〇九熊本八、一八八大坂六、二七五岡山五、九七七佐賀五、七八二東京五、四八九愛媛四、八二八兵庫四、七八二鹿兒島四、五九九島根四、二〇八香川三、七〇五京都二、八九八愛知二、八五六徳島二、七七三三重二、六七八和歌山二、三七六靜岡二、〇八五滋賀二、〇五八福井一、九九六石川一九八六新潟一、九三三鳥取一、八九二福島一、八九三神奈川一、八八七岐阜一、八五九福島一、七五三高知一、七三三千葉一、五六九奈良一、四八六長野一、四三九宮城一、四三〇茨城一、二五九宮崎一、二三六北海道九二一群馬九〇七埼玉八五八山形七九八栃木七八五山梨七五八秋田六八二岩手五四八青森四九六沖繩七一計一七一五四三

英紙の動亂觀　在倫敦山

倫敦代理大使發電によれば十一月六日タイムスは清國政府の倒れたる事は明かなるも今後の結局に付ては豫測すること尙早きに失す殊に恐るべきは各州分立運動にて若し此の運動成功せば世界の平和に及ぼす影響の程度豫期すべからず斯の如き分裂の危險を避くるは只清國各派の合理的讓亡を滿足せしめ其不合理の亡心を制止するを得る政府の迅速に樹立するあるのみなりと論じ一方支觀者は協力にて憲法政治の實現を成功せしめんことを希望するは勿論なるも元來清國に於ける憲法政治は頗る至難のものなる事を叙述せり又モーニングポストは若し内亂繼續し漢口の燒打ちの前例を遂行せらるゝに於ては列國は遠からず其の利益保護の處置を執るを必要と爲すに至るべし長江沿岸の改革派長髮賊の末路を記臆し速に適當に諒解するを得策とすと論じ居れり

○新刊紹介

△滿韓公論（第九號）號を重ね益々体裁を整へ議論痛快にして人物評論の如きは隨分思ひ切つたものなり而かも硬に偏せず軟かき記事亦多く所謂實益と趣味を兼ね備へしものは本誌なり（一部十錢奉天小西門外滿韓公論社）

△雄辯（十一月號）苟も雄辯ならんとするの士は本誌を讀むべし記事悉く辯を錬るの資料ならざるはなし本號重要記事はジョルダン博士の『戰爭の慘害と平和事業』加藤咄堂氏の『人情の研究』山室軍平氏の『雄辯家としてのブース大將』等なり（一冊二十錢東京市本郷區駒込阪下町大日本雄辯會）

△東洋時報（百五十七號）本號には我が國の殖民地銀行（下坂臺灣銀行副頭取）を載せたり（一冊五十錢東京市麹町區内山下町東洋協會）

△鑛業界（第三號）鑛業雜誌のオーソリチィーなり記事悉く鑛業上の智識を開發せんことを主とし且一般鑛業界の報道は網大洩らさず斯界に關係ある者の必讀すべきものなるは辯を俟たず（一冊十五錢東京市麹町區飯田町四丁目鑛業之日本社）

△れ伽倶樂部（十一月號）れ伽話頭大家として有名なる久留島武彥氏の主幹せる本誌の記事は異に面白き事限りなく教訓あり諷刺あり何れも砕ける程碎いて書かれたるを以て少年の無二の讀物たるを失はず（一冊十錢東京市本郷區森川町れ伽倶樂部出版部）

勸業貯蓄債券賣買の好機
現物 問屋
京城南山町三丁目
日野峻商店
電話一四〇九番

△東京經濟雜誌（千六百十九號）社說（支那革命の餘波の歸着如何）（米の生產と其資消）宮崎駿兒氏（支那人の革命思想と列國の暗闘）莊田秋村氏（支那革命及其借款を論ず）等あり（一部十二錢東京市京橋區濕左衛門町經濟雜誌社）

外事一束

▲湖北●官吏漢口虐殺を憤り參謀等を重罰に處せと說き事件調査の上諭下る
▲憲法●革案發布せられて而へ革黨尙は其餘を餘めず資政院の力既に窮す即
▲共和●國を建て清朝を滅亡するの外我れ其の策を知らずと資政院議員慨嘆す
▲兩江●總督張人駿及鐵良諮議院に列席南京獨立を可決し革命旗全市に翻る
▲借款●三千五百萬資政院通過は政府議員に賄賂の結果と北京民間騷亂を極
▲比島●の米兵清國に出兵準備を爲す蓋滿洲人商の虐殺第三回の行動牽制の爲
▲上海●中華共和國政府外國領事團に通告して一所に會し種々打合爲んと乞
▲伊國●政府列國に對つて仲裁的盡力をとらんことを請求して曰く土として
▲賢明●の處決に出しめ既定の事實に服從し無益に血を流すを止めしめよと
▲獨逸●兩國に於ける講和鬪爭を揣へて以て盛に伊のトリポリ占領を攻撃す
▲佛國●首相曰統治の義は無政府黨等の行爲に對し飽迄安寧秩序保持に有ど

梁川庄八

小金井蘆洲演

第三十二回

勝見山孝太郎は即時に相撲溜に這入て衣類を脫ぎ〆込を充分に緊直し、四方の見物の方を見廻し片頰に笑を含みながら土俵へ上ると、大灘はモー充分に四股を踏鳴し力を揉んで待て居る。行司は又双方の名乘を上げる、勝見山も四股を踏んで仕切を付る、見物は以前に倍増して『勝見山アー』『大灘アー』各々聲援をするので小屋は破れる計り。◯騷ぎ　行『急くまい双方油斷なく手を降し合つて……まだまだ』と兩方の意氣を見合ふ、今迄勝手な事を怒鳴つて居た見物も此處へ來ると靜まる、其中に双方ヤッと氣合が掛つて立上りました、二三度は突合つて居たが聽て四つに組つた、大灘は力量無双の男だから四つ角力と來ては負た事のない、夫が四つに組んだのだから此處ぞと滿身の力を出して『エー』とばかりに振倒ろうとする、互に『エイヤ』と挑んで居る中に、元來勝見山は相撲が巧手だから、左右の腕を踏差しに渡し込んで置て体を寄せると『ウム』と大灘を腰櫓に乘せて反身になつて土俵の外へ持出ろうとする、大灘はこゝ堪らじと全力を振つて振り解うとするが駄目だ者だから河津を掛けて同体に落ちようと思つて、河津を掛けたが勝見山の力が勝れて居るから利かない、然う斯うする中に勝見山土俵際迄來てドンと突いた、流石の大灘も留へ引繰り返つた、此時は見物一同思はず『勝見山〳〵』『大灘の野郎め先きは乃公の取るのが怖いので逃げたと云わぬ許りの顏付をしやがつて蔑み笑ひをして居やがつた癖に……樣ァ見やがれ馬鹿野郎……勝見山豪いぞう……』熱狂して居るから、着て居る物を脱いで構はず土俵へ投げ付ける、羽織を投る者もあれば着物を投る者もある甚はだしきに至つては、下に締めて居るものまで投げ付けるといふ有樣『勝見山ー』といふ勝軍配を入れて孝太郎嬉々として土俵を下りやうとする、代官甚太夫は的が違つて僧體した大灘が或ひは之は怪我負けに違ひない、モウ一番取直しをさせやうと斯う思つたか座敷の上から聲を上げて　甚『孝太郎を土俵の上から下ろしちやならん、今の相撲は勝見山に踏切りがあるやうに思はれる、モウ一番取直しをいたさせろ』鶴の一聲で據ろなく、再たび大灘が土俵へ上る、行司は　行『只今の相撲勝負なし、取直させます』見て居る奴は　◯『おやア何で取直しだい、和泉村が勝つたに違ひねゑ、夫を取直しといふは訝しかんべい』△『さうでねえ、土俵際で打捨る節に勝見山に踏切りがあつたと』◯『さうか、だけれど聞いもんだな孝太郎は、今度孝太郎が負けりやア何にもなんねゑが、どうかして勝してねもんだ』△『何でも構はねゑから聲を出して呼ばれ〳〵勝見山ー』◯『勝見山ー』双方念入りに仕切つて、行司は今度は勝見山の方が充分立つ氣になつて居る、夫は大灘の實力をモウ見拔いて居るからだ、岩五郎は少し固くなつた、待つた〳〵と四五囘、充分に機が熟して、ヤッといふ聲と共に双方立つた、面前から大灘がドーンと突いて來るやつを、ウンと受ける勝見山右が充分に差されて、左り横三ツを取つて、頭が胸へ當つて、ウームと唸下る、先方の右が左りに巻いて、右の後ろ三ツへ掛る勝見山、土俵の眞只中へ、双方暫らくの間ジッとしたッきり動かない呼吸を窺かつて居る中に、大灘がウーンと金剛力を籠めて押切つて來る、土俵の劔ケ峯の所まで下つて來る勝見山　◯『ヤーイ、跡がねるぞ勝見山、シッカリ踏ませ、先に勝つても、今度負けりやア何にもならねゑ、ソレ跡がねわせ』ワーッと騷ぐ、近來は相撲が非常に世に持囃されて居て、人の勇氣を増發するに缺くべからざる技であるとかいふ、日本全國のみではない、西洋各國に到るまで、我が國の相撲といふと、持て囃されて居る、向兩國の相撲常設館に、板垣伯は日本の國技であるといふ上から、國技館と命名をされた、例の京都の大錠組は、日英博覽會の開催を機として渡航するなんぞといふ譯である、けれども餘り世の中に持てはやされるからとて、相撲自身が向上的になるのは實に困つた傾むきである、餘事に渡つて濟みませんでしたが、勝見山と大灘の取直しの勝負はどうなりますか次號

廣告

梅毒痔疾淋病 患者の福音
根治確證以上諸毒全滅靈劑●望者住所ハカキで照會者に十年間痔淋梅毒者の全治禮状寫共に報ず●長門萩山根飛亭 淋病者三錢送れ痲の試藥無料進呈奏効

口上
御町中御旦那樣方益々御清福之段奉慶賀候扨弊座儀今般大阪浪界の彰々若手の名士吉田奈良男を招聘し花々敷開演仕候間永當〳〵御來車之程奉懇願候　敬白
旭町　歌舞伎座
來ル十一月十日より
大和櫻義士面影二ツ巴
毎日午後六時　開演

目錄進呈
朝鮮京城本町五丁目
株式會社　日本蓄音器商會
電話一二八三番
日本一　浪花節　大家吹込
新曲多數着荷
其他日本新譜壹千余種

吉田奈良丸

地方取次販賣方御申越被下度候
特約店
京城本町二丁目　辻屋
京城本町一丁目　熊平支店
釜山辨天町　爾榮商會
平壤大和町　丸吉商店

拙者儀今般漢城病院を繼承致候に付ては院内の一大改革を行ひ病室の修繕其の他一般設備を完全にし全く從來の面目を一新仕居り候然る上は愈來る十一月十五日より一般患者の診療に從事仕候間此段廣告仕候也
院長　醫學士　馬淵元宣
看護婦募集　希望の者は本人履歷書携帶來院あれ
京城明治町一丁目　漢城病院

東京電報

▲袁暗殺說傳はる 袁世凱殺されたりとの說北京に盛なりとの報あり

▲福州も大混亂 九日福州に事變爆發し戰闘開始と共に各所に大火起れる旨公報ありたり

▲帝國議會召集期 十二月二十三日を以て東京に第二十八議會を召集する旨詔勅下れり

▲軍艦厦門に急航 福建省厦門不穩につき淀號の二驅逐艦同地へ急行せしが尚一二隻派遣さるべしと

▲南滿動搖の兆あり 直隷省及奉天省は獨立を布告し欒州鎭江は既に革命軍に陷落され南滿洲方面も多少動搖の兆あり

▲齊南人心動搖 北京伊集院公使發外務省着電に依れば齊南府巡撫衙門に對する府民の示威運動起り人心盛んに動搖し五千の獨逸水兵は青島より天津に向へり

▲上海は靜穩 上海は引續き靜穩に歸し事實上休戰の狀態なりとの公報外務省に達せり

▲廣東の獨立宣言 在廣東赤塚總領事發外務省着電によれば廣東總督は同地方人民の意を容れ諮議局及重なる官吏協議の上近日獨立せん事を宣言すべく決議し師團長提督も之に同意せりと云ふ

▲厦門に暴徒起る 既に獨立を宣言せる厦門は目下暴徒起り掠奪放火盛んに行はれ人心恟々として他に避難するもの多しとの報道に接す

▲官軍の敵愾心 灤州より北京筋に達したる來電によれば革命軍は灤州兵に降服を勸告したるも官兵は降服すべき模樣なしと云ふ

▲安慶の叛亂不成功 在安慶領事館長の電報によれば安慶にても叛亂起りたるも成功せず却つて鎭撫に諭示を受け若干の金を受て解散せりと云ふ兎に角比較的靜穩なり

▲國民黨員渡清 立憲國民黨の鈴木、佐々木の兩代議士は清國動亂地視察の爲め來十五日神戸出帆天津北京漢口等視察の上十二月中旬歸京の筈

北京特電

▲天津獨立宣言 天津は愈々獨立を宣言せり

▲鐵良滿人を代表 鐵良は滿人を率ゐ大治山に據り目下革命軍に對し交渉中なり

▲各獨立地の連絡 獨立を宣言したる清國各地は山西外一省を除く外何れも聯絡を取りつゝあり南京安慶にして確實に占領せば長江一帶の革命軍は先づ之れを一團とし特別假政府を作る計畫なりと

▲官軍益々窘窮 京漢鐵道中斷せられたるため北京との連絡を阻害せられ又鐵道沿線の地方人民は官軍に同情せず物資の供給を拒み爲めに官軍の元氣益々沮喪し窮地に陷らんとす又漢口に於ける官軍の掠奪橫行は非常なる惡評を招ぎつゝ有り

▲北京官兵の反目 石家莊に於ける第一鎭兵の叛亂鎭定の爲め段祺瑞は昨夜同地に急行したり此の變ありて以來北京にある滿洲軍隊は意氣頓に昇り今や漢人軍隊は城外に敬遠されつゝあり聊かにても導火線あらば滿城修羅の巷と化せんとする形勢なり

▲欒州兵立往生 欒州にある第二十鎭兵は國民軍立憲隊と書せる旗を舉げ鐵道電報局を監視しつゝあり同兵は未だ夏服のまゝにて糧食行き渡らず爲に立往生の姿なり

▲蒙塵の地決定 皇族會議にて皇帝を熱河に蒙塵せしむることに決し洵貝勒は既に熱河に向へり

▲革命黨天津上陸 八日夜革命黨員八百餘上海より天津に入港したりとの報傳はり北京宮廷恐慌を極む

▲袁上京不可能 攝政王は頻に袁世凱の上京を促せども六日石家莊の軍隊叛亂し呉祿貞其他の將校殺害され京漢鐵道の運轉中止となりしため袁世凱の上京は全く不可能となり時局益々困難を極む

▲露兵近々入京 哈爾賓駐在露國兵八日鐵嶺着北京公使館護衞の爲出發せしが其兵員は將校五名下士卒百八十一名馬四十一頭馬車九輛なり

▲餘す所僅に二省 德州の兵器製造所も革命軍の手に歸し今や革軍に隨せざるの地は僅か二省のみとなれり

上海電報

▲南京官軍暴狀 南京の滿兵橫虐を恣にし辨髮なき清國人は悉く之れを殺害し屍体を遺棄し市民戰々兢々たり

▲官軍の内訌 漢口及び同附近の官軍大爭闘を惹し兵士の逃亡するもの數知れず支離滅裂を極む

▲英兵北上準備 清國の事態は益々險惡なるを以て各國は何時出兵するやも計られず香港の英國兵七百名は目下北上の準備を整へ居れり

▲佛租界椿事 上海の佛租界火藥製造所に於て八日爆烈彈破裂し外國租界は大混亂を極めたり

▲借款と資本家 目下談判中の清國借款五百万兩は漸く政治上の色彩を帶び來り英國資本家は三個の意見を提出したり第一は休戰講和ある事第二は慶親王及袁世凱を講和全權大臣として速に難局を救ふ事、第三は資政院は國民の代表團体として全權大臣と共に講和を是認せしむる事然れども是は異論あるものゝ如く政治中心は既に政府より離れ人心恟々の際借款は行惱みの姿なり

▲革軍應募者 上海に於ける革軍の募集したる兵士は八百名なり同夜蘇州に向ふべし杭州革軍より援兵二千七日午前六時當地に到着したり

▲米國軍艦の動靜 厦門駐在、米國領事の要請に依り軍艦アルバニー外二隻は呉淞より厦門に向け出發すべし福州に於ても形勢又險惡にして砲艦ホエンプチヌルを派遣し外國租界を守備し居れり

▲香山縣の兵叛す 廣東よりの電報によれば香山縣駐屯の新軍は全部革命軍に通じ白旗を揭げ香山縣城を襲ひたるが官軍の指揮官は難を避けて逃走せり

雜報

●三菱の鐵鑛採掘 三菱合資會社にては愈々朝鮮の鐵業に從事することゝなり第一着として黄海道黄州郡潛顏面の鐵鑛の採掘を始むる由

●豫定と監獄費 朝鮮に於ける各監獄は平壤、大邱、釜山の三個所が新式に建築され京城が目下工事中なるを除き其他は全部舊式の朝鮮家屋なるを以て空氣の流通惡しく構造も不完全なるを以て當局に於ては頻りに各所の建築を希望し居れるも豫算の關係上到底明年度に於て計上することを得ずと云ふ

●日鮮人の漁獲狀況 內地人にして朝鮮沿岸の漁業に從事するものは近來著しく增加せしが今左に統計的に之れが漁業狀態を示せば漁船數は三千九百六十艘乘組人員一萬六千五百六十五人漁獲高三百九十四萬二千六百五十圓(一年)にして之れを一艘及一人に平均すれば一艘に就き漁獲高九百九十五圓(一年)一人に就き漁獲高二百三十八圓(一年)なりといふ而鮮人の漁獲高は三百十三萬九千百圓にして一人平均の漁獲高四十六圓なるが要するに朝鮮沿岸に於ける漁獲高は內地人鮮人を合して一年平均七百萬圓以上とはなるなり

●清國總領事館を訪ふ 所某着報に依れば在東京清國留學生三千人清國公使館に迫り公使は身を以て横濱に避けたるものゝ如し因つて記者は右の事實を確めんが爲十日夜當地清國總領事館を訪ふ、刺を通ずれば馬總領事は既に寢所に入りとて通譯官陳氏出でゝ記者に應對す陳氏曰く東京に於て我國留學生が公使館に迫りしとは意外なる出來事なり而れども右に付き東京より當館に向けては何等の電報なきを以て何等知るところなし記者は序を以て陳氏に問ふに最近北京の狀況を以てす、陳氏曰く申すもオカシキ事ながら北京よりは今回の動亂に關し最近何等當館へ通報し來らず、當館は只た新聞紙を見て貴下等と同樣彼地の狀況を推知するのみなり尤も最近北京の狀報は芝罘發十日仁川着蒼龍丸が齎らし來る筈なり云々

●商工調査會議事 既報の如く京城商工調査會は十日午後六時より日本人商業會議所に於て開會す出席者二十三名にて記載の(一)日鮮人商取引改善の件(二)輸移出入貨物關稅改正の件(イ、貨物檢查手續の敏速を圖る事、ロ、鑑定價格調査の件)(三)民業に對する官營事業調査の件(四)滿鮮直通列車開通後京城に及ぼす貿易上の影響如何調査の件(五)中清動亂が京城の商工界に及ぼす影響如何調査の件(六)商工調査會に鮮人の商工業者を加入せしめ調査事項を囑託するの件等に就き協議したるが結局(一)は一般の鮮人は手形の支拂期日不確實なるが爲め從つて銀行に於ても割引を爲す能はず現に京城に於て鮮人が內地人に對して振出せる手形は七十萬圓乃至百萬圓なるに拘はらず是等は何れも期日に相違より其の儘となり居るが要するに如斯事は經濟界の爲め其の不利益なること尠少ならざるを以てこれが改善方法を講ずる事(二)(但しイ)は荷造りを完全にし而して箱中の物品は一個々々に區別し一包としイ番號を記し仕切書と合致せしむるやうなさば從つて檢査も自ら敏速となるべき事(二)(但しロ)は從來の鑑定價格は其の標準一ならず一例を擧ぐれば紙類の如きは假令其の重量に於て價格を定むるとはいひ粗惡なる紙は其の重量重く從つて精良なる紙に比し相當重き税を課せらるゝ譯なるが是等は其當を得ざるものなり依つて專門的に調査を遂ぐる事(三)は官營事業は民業の發達上喜ぶべき者に非ず現に京城より永登浦水原にいたるの間に於て瓦及煉化の製造に從事せるものにして官營の競爭に堪へず七八軒破産の悲境に陷れるものあり又印刷業者にありても之れが惡影響を蒙れるもの少なからず是等は宜しく民業の發達上相當方法を講ずる事(四)は滿鮮直通列車が釜山との聯絡上殊に(將來に於て)一見支線の觀ある南大門及西大門に立寄ることは交通運輸上不利益の點少なからずされば京義線の水色驛邊より龍山にいたる線路を敷し同時に水色驛より西大門驛に達する線路を敷きなば何分迂回の嫌あるも殊更に南大門及び西大門の兩驛に立ち寄るの要なく荷客の運輸上利するところ多大ならん而して這問題は當局の意見を叩き一方充分の調査研究を爲す事(五)は京城に於ける清國商人は年を追ふに從つて其勢力減少せるの傾向あり從つて日本の商人側にありては其の影響を蒙る事少なし又南清の動亂が日本に取つての影響は多大ならんも朝鮮に取つてはさまで憂ふべきものなしされど日本が消極より受くる影響は直ちに以て朝鮮に及ぼすは自然の勢なり依つて此點に就て調査研究を試むる事(六)は鮮人の商人に伍して或る種のものは日本商人の間に伍して組合員となり居れるが是等は宜しく調査委員に加入せしむるが可とす而已ならず資もある鮮人の商人も宜しく入會せしめ調査事項を托するを要す是蓋し日鮮人親睦の要諦にして又同化の一方法のみ依つて右加入鮮人を物色する事となし十一時散會したるが右案件は何れも次回の調査會に報告する筈なりといふ

●廣梁灣貯金 專賣局廣梁灣出張所に雇傭する鮮人鹽夫に對し貯蓄思想を養成し且不慮の急に備へしめんが爲め昨四十三年七月より每月給料の內より引去り貯金せしむることゝせり昨年中は每月鹽夫の日給一日分づゝを貯金せしめたるも本年は每月二回の給料支拂日に於て一人三十錢即ち一月六十錢づゝを引去り貯蓄せしむる事とし郵便貯金となし通帳は郵便局に保管を依賴せり當初此貯金の計畫となすに方り鹽夫は種々なる疑惑を挾み或は結局沒收せらるゝものなりなど思惑せるものゝ如く若し申出づるものありしも確實有利なることを懇諭し實行し來りたるに漸次疑念を解き自己の貯金通帳には確實に登記せられ且止を得ざる必要若は解雇の場合には確實に利子を付して拂戻さるゝを以て近時疑惑を懷くものなく喜で貯金するに至り多期解雇するものも拂戻を受けず其儘保管を請ひ來春再び鹽夫に採用せられん事を願ひ出る者あるに至り且拂戻を請ふものも最底十錢を殘存せしむる事に取扱ひ成績良好なり貯金の狀況は時々增減ありと雖も概して春期に增加し秋冬に減ずるの實況にして六月以來の狀況を擧ぐれば左の如し

月別	預入口數	預入金額
六月	九八三	二九四、九〇〇
七月	二、三〇四	六九一、五〇〇
八月	二、八一二	八四二、三〇〇
九月	一、八七四	五六二、二〇〇
十月	一、二二二	三六六、六〇〇
合計	九、一九六	二、七五七、五〇〇

以上の狀況にして右の內解雇下戻に係るものも其儘通帳を保存し現金を引出さゝるものも尠なからず鹽夫一人の貯金率は尙幾分增加し得べき見込みなるにより明春製鹽開始よりは一ヶ月一圓以上の貯蓄をなさしむることは敢て難事にあらざるべしと

●南大門驛改築に就て 大屋鐵道局長官談 南大門停車場の改築は未だ決定はしないが追つては(何れか旅客停車場としてか又は貨物停車場としてか)によつて改築さるゝかも知れぬナニ改築費を本年度の豫算に計上しはせぬかとソレな事はない今言ふた通り旅客停車場として改築するかソレとも貨物停車場として改築するかさへ今のところ未定であるから這ういふ設計の下に改築するかの案は固より立たぬ筈だところで滿鐵直通列車開通後の今日に於ては勢ひ龍山を以て乘降客驛となすの至當なるを稱ふるものもあるだらうが這は京城との交通聯絡が餘程完全に取れて居らねば不可能だソレには京龍間の電車を完全にして乘降の際の輸送に差支へのないやうにするのも、方法としては宜いかも知れぬがマヅ之れも考へものだ然らば貨物驛旅客驛として西大門驛を擴大すれば宜いではないかとの問もあるだらうが第一南大門は地域が狹くて出來ぬ……勿論附近の土地を買收するとしてさすれば將來は其の何れかを龍山に移さねばならぬ時期に達するだらうがマヅ今のところでは未定だと云々

●徵兵適齡者の注意 朝鮮に於ける明治四十五年度徵兵適齡者身体檢査は咸南第四聯隊咸興三十二聯隊元山第三十二聯隊第一大隊龍山第六十五聯隊平壤第廿九聯隊太田第一聯隊大邱第二聯隊釜山第二聯隊光州第二聯隊第二大隊內に於て施行すべき旨九日付上田軍司令官より發示されるが身体檢査を受けんとする者は所定の雛形に依る願書に戸籍謄本を添へ明治四十五年二月十日限り各前項所轄軍隊內に願出ずべしと

●黄金町通擴張工事 黄金町通りより光熙門に至る道路改築は既報の如く土木課に於て經營する事となり居れるが永樂町三丁目以東は既に土地家屋の買收を終へたるを以て天候の如何に拘らず本年內には起工の筈

●京城警察管轄區域 七日附總督府令第百三十七號を以て警察署名稱區域發布せられたる內容如左 昌德宮警察署(昌德宮地域)同德壽宮分署(德壽宮の地域)南部警察署(南部一圓「銅峴分署管內を除く」西部の內齊坡より漢江橋に至る除く區劃したる東北一圓)銅峴分署(南部の內銅峴より樂英坊に付及本町八丁目を經て明哲坊までを區畫したる東北一圓昌面の一部)北部警察署(中部一圓)同東大門分署(東部一圓仁昌面の二部)同西大門分署(西部一圓豆毛面の一部)同水門洞分署(北部一圓及恩平面の一部)龍山警察署(龍山署の內齊坡より漢江橋に至る以北西江面延禧面の一部)

●驛屯土稅金納成績 從來穀納なりし驛屯土の納稅に對し其小作料を改正して金納とし今秋期より實施する事となりたる次第は既報の如くなるが京畿道管內にては該金納に屬するもの二十餘万圓あり徵稅の結果非常に良好なりと云ふ

●京畿道の道路修繕 京畿道金浦郡の道路修繕は陽川郡界より一里程は去る六日迄に竣工したるが來月三日迄に全部竣工する豫定にして目下人夫八千六百五十餘名土工に從事し居れり

●南大門驛荷客發着 十月中南大門驛に於ける乘降客數貨物發着噸數並に賃金を揭ぐれば降客三萬一千六百人乘客二萬八千七百七十六人此賃金五萬三千九百四十五圓十九錢貨物は發二千六百〇九噸着一万一千九百六十五噸賃金二萬六千八百七十六圓四十五錢なるが貨物の發送は今月より來月に掛けて著しく增加すべしといふ

●落合總領事の入京 奉天總領事落合謙太郎氏は十日入京天眞樓に投宿したるが十二日午前九時出發奉天に向ふべしと云ふ

●松村憲兵副官の出張 憲兵司令部副官松村中尉は今十一日より二週間の豫定にて黄海道へ出張の筈なりしも都合により十三日出發に變更せり

●六月末就學兒童數 全道に於ける就學兒童は官私立學校を併せて男二萬四千二百三十九名女二千〇九十三名なりと

●明太魚の初漁 咸鏡南道北部の沿岸に於て去月二十二日明太魚の初漁あり十餘隻の漁船は各百尾程を獲たるに過ぎざるも人氣大に引立ち漁船の來集するもの多しと云ふ

●京畿道の授產巡回講師 京畿道管內各授產所の技師及主任等は近日より各其管內に出張巡回し主として製繭の講話又は講習に從事すべしと云ふ

●京城の牛乳搾取高 京城府に於ける一ヶ月の牛乳搾取高は乳牛四百〇四頭に對し百五十八石四斗にして販賣高は百五十六石五斗なりと

●記事訂正 十一日付本紙にスタア博士が内地へ赴かるゝとあるは釜山の誤りに付右訂正す

公人私人

▲落合謙太郎(奉天總領事) 十日天眞樓へ
▲齋藤末次(同領事員) 同
▲阿部安積(藤田組技師) 同捕尾へ
▲イム、ライ(宣敎師) 同同室
▲原田孝七(關東都督府員) 同出發歸順

▲京城手形交換高▼

月日	金高	枚數
十一月十一日	一三三、一七三、五四〇	七六五

▲茶袋▼

支那の動亂も勃發してから、昨日で丁度滿一ヶ月だが、今の分では到底急に治まりソウにもない、ソコでグヅグヅして居る中に四五ケ月は直ぐに經過て仕舞ふ▲記者は本當には知らぬが國際公法どやらでは、內亂にして六ケ月以上を繼續するときは、列國政府は內亂者を交戰團体と認めるのだソウだ、されば現在の革命軍民政府にして今後五ケ月間を持續するときは、ソレが列國政府から交戰團体として認めらるゝ譯だ▲ソレは扨置き、今度の動亂をキッカケに古風な支那分割論が亦々頭を擡げ始めた樣だ、併し斯る事を此場に唱へるのは、宛かも火事場泥棒の所爲に類して、其心事の陋劣サ加減が見透かされる、縱し分割が行はれたとしても、其後の統治が如何に困難であり、且つ列國間に無用の爭鬪を惹起さしむる原因となる事に想到せぬとは、サテも〳〵淺慮なことだ▲流石に大隈伯は偉らい、彼れ今や支那領土保全論を唱へ、獨り我獅子身中の虫たる小ヂンゴー輩を抑へんとするのみならず、虎視耽々たる列强の野心を制せんとして居る▲大隈伯の言ふが如く亦た桂公の言ふが如く、日英同盟の存在は實に今日に處する爲だ、我朝野は今日の場合宜敷日英同盟を提げ、誠心誠意支那領土の保全に盡すべしだ▲但し茲に斷つて置くが支那領土の保全と新舊政府の更替とは自ら別問題である序に記者は今回の動亂に關し、我邦人が小野心を逞ふせざらんことを願む。

●新町の稲荷堂 (四)

七日午後四時 白面子

茶の間に導かれた僕は透かず「山邊さんはナカ〳〵御熱心な信仰家でムいましたかね」と訊くと坊さんは熱心なる口調を以て「ハア左母さんは勿論其娘さんも極めて熱心なる御信仰家で毎朝必ず御參詣が成りました、山邊さんなぞは財産が大有りですから內地に轉地療養なんて贅澤も出來ますが金の無い人でしたら座うしても神に手頼るより他はないのです」と一寸巧い言を仰云る、僕は此所に於て云ふ所謂偉い人達は『神に病氣の平癒を祈つたとて神樣が夫れ醫者なやあるまいし藥おやあるまいし病氣が平癒して堪るものか」なぞ仰云るが醫者に診察して貰ひ藥學博士に投藥して貰つても死ぬ人はあるのだもの神に祈願を籠めたからとて十人が十人御利益即ち平癒者は輕快するとは限らぬのは其所であらう、併し決して御利益の無い筈はないのだ、僕等は迷信からでも可い神を信ずるものは金錢神の存在を認め得ぬものよりは幸福である」と僕は信じて居るのだ「死後天國に生せしめ玉ふ」と祈禱するのも「現在の我にあらしめ玉へ」と祈禱するのも同一ではあるまいか、宗教の祈禱が成就するものなれば彼岸の立脚を又徒に縋るまい、と僕は信じて居るものである、夫と同時に又

金や油揚で神樣に御利益の大割引を願はうと試むるのは愚痴の沙汰だと云ふものであるのだ「御光です私共齋給者は稲荷樣にさへ滿くです……」時に當稲荷樣の本山は何方ですか」と尋ねたら「備中高松」だと答ねる、足守川の右岸に百數階の石段を疊み、毛利家の驍將清水長左衛門が羽柴筑前守の雲霞の如き大軍を拒ぎし水攻の奇計に力及ばず一死を以て萬卒の死に代りたる高松城址を一鐵の赤松林中の小祠に見る**備中高松の稲荷樣の分社**であると聞して然らば僕の爲めには記念多き所である「和尚さんは何時御渡鮮でしたか」と問へば「八年に成ります……エ、參詣人は一日に百人內外あります」と云ふ此所に於て僕は其の手を出して一心に御祈禱をなさる時なぞ稲荷樣が乘り移られる事なかムいませうなア」と油を掛けると和尚さん氣の無い聲で「夫れは何です……其の時に依ります」と苦し相だ「御祈禱されて斷ひする手續は」と尋ねると「氏名年齢を控へて置いて毎日御祈禱します……離は志です」と云つて拙僕の顔を怪し氣に見戍り「貴君の御職業は」と心配相だ「履辨です……時に此れは輕少ですが油揚でも供へて下さいまし」と二十錢銀貨を手渡して立出れば春雲白岳山嶽に徂徠し娼家樓上灯火耿し、襟を合せて急ぎ下る、誰家の女ぞ爪彈いて曰く忍ぶ夜は、傘も邪魔なりひら時雨、待たるゝ身より待つ人の、來ぬ夜はかなき胸の內、愚痴や未練にはだされて、知りつゝ野暮な神いじり、いつか求めし此の苦勞。察し申す本調子、其術に罹つて酎るまじと横見もせずに本町通りに出てホツと一呼吸(終)

●壽座の三田光一

▽凄まじき身體石割術

壽座に於ける千里眼自覺術三田光一の初日を觀るべく十日夜七時頃行つて見ると既う見物は平土間と東西棧敷に充ちて其の人氣は素晴しいものだ恰度前座の奇術が終つて緞帳の下りたところだ緞帳も鮮麗正面の欄間に引き廻した水引も同じ樣色に金糸の刺繍をした京城明治座座附茶屋ひのやからの贈り物で言はずして首部の本舞臺をも踏んだことがある身だと云ふことを觀客に納得させるのは頗る得たものであらう程て緞帳が上ると口上の前置と共に紹介せられた熊居眼に腦天の眞只中から頭髮を眼とふ程チックで分けた眼鏡掛けの高襟男が即ち當の三田光一である其の前身が樹派の奇術師であつたと云ふだけ絶ぬす間をバチ〳〵させる其の投げ振りも鮮明なものだ觀客は餘りに其の世俗的なる姿態に一驚を喫して居る演藝は「空氣の壓力空中自在皿飛行」と云ふので先づ一組のトランプを圓形に手掌に並べて逆にしたり左右にたりしても壓力の加減で少しもカルタが散らぬ處に手練の程を示し次に鮮麗い電氣を消してランプの石笠が光一の鑑に依つて見物の頭の上を花に狂ふ胡蝶の如うに奇麗に飛び廻るのを演じた最も此の自在皿は針金を繰として操るのだと光一自身も稱して居るが只其の巧妙なのには何人も感心の外はない評判の千里眼と云ふのは長さ一尺に巾五寸高さ七八寸の杉製の嚴疊な箱の中に觀客に何でも入れさせて光一が之れを透視して言ひ當てるので當夜は土間に朝鮮服を着て居た男の入れた煙草の喫殘、一錢銅貨、新聞紙の三品及び東の高場に居た商人風の男の小さな白塊の藥品を櫻紙に包んだものとの二つが美事的中した併し其の的中の餘りに的確なのと土間の鮮人服が餘興としての光一が奇術の際の當初から其の演藝に誹謗をつけんとしては却つて感心し日本人にして能く鮮人服を纏つた爲とに依つて觀客の多くは光一の同類だ八百長だと猜疑の眼を以て見る面も目前の技術は的確を極めて居る觀客は一同有耶無耶の感に打たれざるを得ぬ即ち土間の後方に控へて居た記者は其の所謂透視術の異償を試むべく密ひて倘一回の透視を行はせると光一は社會を代表する京城新報社からの御所望だからと斷つて暫時沈思瞑想の後記者が密に函中に密閉した透視物を『紅葉屋代理店二曾野紋輔商店』と記してある大形の名刺であらうと文句まで一字一句違はず的確に言明した觀客の拍手喝采は暫く鳴も止まない『宇宙萬物の出現』と云ふのは觀客にカードへ注文の品を書かせ即座に其の品を現出せしむるので透廉の後直ちに行つて朝鮮鴉、當日付南大門仁川間の鐵道乘車切符、金光堂入口の名札を現はしたが是れは外に類のない演藝ではない又た最後に試みた光一獨特の『身體石割術』といふは實に凄まじいものだ腹部の知覺神經を麻痺せしむるの愚さうで當夜は四十一貫餘の大石を赤裸々の腹部へ載せて二貫餘の鐵槌で打ち下して之れを三つに割つたが其の火花の散りめく凄まじさは壯烈なもので光一が横臥した儘鐵槌で打ち下されながらも平然たるに至つては更に妙中の妙で只滿場喝采するゝ許りの讃で閉場した見ぬは末代の恥辱語り話しても何人も是非一度は見物すべきものであらう(一記者)

●可憐な陛下の赤子

▽電車の不法傷害に泣寢入り

十日午後一時二七分頃余の便乘したる鐘路發龍山行七十一號電車が車掌三十運轉手七十三號告橋を通過せんとする際目下同橋修理の爲め穴を堀りつゝあると一人の鮮人の凍軍其線に立ちて其穴を覗き居り危險なるにぞ運轉手は非常鈴を鳴らしたるも鮮人は氣付かずし避け去りし爲め突飛され穴の中に陷落し一時氣絕し居たり此に就て一言せんに會社の現業員監督等が常に如何に命令し居るにや運轉手は如何なる危險の目前に迫るも決して運轉を休止せず突き飛ばして後初めて運轉を休止するなり然ればこそ毎日事故頻發するなり加か る然る所なるは要するに監せられざるが爲めなり人命を輕視するが爲めなり況んや**朝鮮人**も又吾人と同じき**日本帝國の臣民**なり非常鈴を鳴らして逃げざれば電車は其人を轢き殺しても可なりと思へるが爲めなり斯くして電車は盛んに人を轢き人を傷害するなり轢かれる奴が間拔けなら轢く奴は殺人犯人なり間拔には意志なければならぬ殺人犯たらざる方には意志あり惡意あり惡意ある傷害犯人を檢舉せざるは不法ならずや刷き者を刷として顧みざるは政治の要にあらず、余は重ねて言ふ朝鮮人も我 皇の赤子なりと會社に對しては運轉手への嚴戒を望み警務當局に對しては一考を煩す

●高女校の音樂會

十二日正午より高等女學校々舍に於て開催せらるゝ同校生徒の音樂部演奏順序左の如し

▲第一部▼

(一)ピヤノ連彈(ラータ)三宅きみ子市川キクヨ(二)合唱(甲、心の鏡、乙、エービーシーソング、丙、ボートソング)第一學年一同(三)ピヤノ連彈(甲、オータム、乙ジップシー)富山治子野尻數子(四)合唱(甲、野外の音樂(二重音)乙配所の月(叙事)第三學年一同(五)オルガン獨奏(アリヤ)檜垣アキコ(六)獨唱(海邊の嘆)松尾シヅ(七)ピヤノ連彈(アンダンテ)渡邊とみ藥師川牧枝(八)オーガン獨奏(ミヌエット)河村チサエ(九)ピヤノ獨奏(サンダー)金澤敎諭(一〇)合唱(須磨の曲叙事)第四學年一同(一一)旅どり幼稚園一の組(一二)たまじやくし幼稚園二の組(一三)電車幼稚園三の組 十五分休憩

▲第二部▼

(一)合唱(甲、伊藤公、乙マイ、ディア マザー、丙チルドレン、ゴー、アンド フアヒー)第二學年一同(二)ピヤノ連彈(甲スプリング、乙ラウンド)宗稻葉小林キヨシ(三)連唱(虫の音)渡邊とみ中山ツヤ(四)オーガン獨奏(ツテナイチ)遠藤政子(五)合唱(甲秋の野邊(三重音)乙紅葉狩(三重音)第四學年一同(六)ピヤノ連彈(チヤ、ヴエリエション)中村榮檜垣カツコ(七)笛(旅順閉塞決死隊)金澤敎諭(八)未定來賓(九)合唱菊水の櫻(四重音)第三四學年一同

●殺人犯人の自白

▽毎度乍ら仁川署の活動

去八日仁川築港場に於ける殺人嫌疑者として其筋に引致され取調中なりし原籍奈良縣葛城郡瀨南村大字古寺三十六番地當時仁川花房町住和田鹿造(三六)の所爲なる事自白に及びければ十一日檢事局送りとなる

●筑前琵琶大會演奏曲目

▽京城ホテルに於ける

十二日午後四時より開演すべき井上霞曉子門下の演奏曲目左の如し

小督上(小野文子嬢)赤垣源藏(小野千春子嬢)敦盛上(福岡氏)西郷隆盛(池川氏)墨染櫻(左右田氏)扇之的(太田氏)常陸丸(檜垣曉帆)城山(野口曉秋)平野次郎(中村相子嬢)臺灣入(荒川曉舟)太田道灌(蘭塘曉笑)谷村圭介(坂崎曉溪)常陸丸(白井曉月)盛久上(井上曉玉)廣瀨中佐(伊藤曉村)敦盛下(黒田曉水)石童丸(市來曉鴻)川中島(桑田曉鶴)僧俊寛(高松曉濤)明智湖水渡(和田曉雲)常陸丸(松尾曉華)本能寺(山口曉峯)求女塚(井上霞曉)外に合奏蝉唄(破千鳥 曉濤、曉峯)近江八景(曉水 曉雲 曉鶴)

●仁川本町の出火

十一日午前二時二十分頃仁川本町三丁目佛人ロンドン氏の經營に係る大昌洋行裏手倉庫賄製造所より出火せしを巡囘中の中島巡査發見直ちに急を本署に通じたれば常備消防隊及義勇消防隊等現場に驅付け消防に盡力したるより同倉庫一棟半燒にして二時四十分鎭火したり原因は不明なるも夜業後洋燈油壺の破裂せしものならんと損害高約三百圓餘ならん

●元の古巣に逆戻 原籍山口縣阿武郡萩町字土原町二百九十七番留藏二女財瀨モト(十八)愛媛縣新居郡垣生村四百六十五番戶石田トワ(三)と云ふ別嬪は忠淸南道大田料理店大和川軒事田島外次郎方の抱酌婦なるが兩人共謀の上去二日逃走京龍山に潜伏し居りたるが此程龍山憲兵隊の探知する所となり九日同隊より抱主へ引渡され古巣へ逆戻り

●不注意なるかな 京城黄金町十統七戶中原淸藏(十七)は十日午後〇時五十分龍山鐵道線內電車終點より電車にて京城へ向け歸らんとして忘れたる帽を友人が持ち來りたるを受取らんとし誤て側の電柱に頭部を打ち付け一時人事不省となりたるより同地同仁病院へ入り目下治療中なり能く〳〵注意すべき事共なり

●檢疫に代人 南部[illegible]は傳染病診斷を忌み朋諸達玉を代人檢診せしめたる事發覺し南部署にて取調中

●金七十五錢 丈を十日午後九時壽町三丁目飲食店平川良一方にて無錢飲食せしは住所不定の熊本縣人齋藤廣門

日曜集會

●京城基督教會(南大門內相生町)なる同教會にては十二日午前十時より牧師渡瀨常吉氏の「宗教の目的」と題する說教あり夜は午後七時半より宗像明四郎氏の傳道說教あり

●微笑會(初音町西本願寺)太﨑師は宗演師來鮮に附隨して各地に巡錫しつゝありしが去七日歸京し本日曜より例に依り午後三時より碧巖集提唱する筈

●メソヂスト教會(旭町二丁目)十二日午前九時半より日曜學校午前十時半より藤岡牧師の禮拜說教「神の人」午後七時より丹羽淸次郎氏の「人生の轉機」なる傳道說教ありと

●演藝だより

▲壽座 千里眼三田光一の奇藝術其他

▲歌舞伎座 吉田奈良男一行の浪花節にして同人の讀物は『赤垣源藏德利の別れ』長講二席他は前夜の續きなりと

▲浪花館 竹本小浪一座の娘義太夫

●奈良男一座の大入

當地歌舞伎座に十日初日を出した吉田奈良男、桃中軒天一等の一行の浪花節を聽いた初日と云ふので牢額だ特別席の一部を除いて殆んど立錐の地もない、僕の行つた時は既に吉田彌壽春が柳生仙吉を讀み掛けて居た早川燕平に能く似た好い調子だが長講になると少々苦しからうと思はれる節がある桃中軒天一の孝子傳五郎正宗、此の人のは細い美しい而して能く透る聲だ、朗詠を聽いて居る如で心持が宜い、彼れが師匠の雲入にもア、云つた調子はある、弟子の天一には有難迷惑だらうが雲は既に老ひて名のみ徒らに高く飛ばし讀み脫かし讀の曲藝に漸く其呼吸を盜んで居れマンマにして居るのと運び天一のは經過も順當に大家がらずして大安賣の長講、而して其長講が極めて迅いのだするから筋が通つて一層面白い、次が綿城齋典山の講釋の如にビシ〳〵進行吉田奈良男の南部阪雪の別れ咽喉を痛めて居ると斷つて語り出したが聲は流石に美しいが成程苦し相だと思ひつゝ聽いて居た時恰も用が出來たので中座したから評は同人の聲の癒つた所で熟く聽いてからにしよう(△生)

廣告

廣告

京城水道給水用具ノ緊急ナル修繕請求ハ執務時間外ニ係ルトキハ便宜水道町一丁目所在水道倉庫(電話一九四九番)ニ請求相成度廣告候也

明治四十四年十一月十一日

京畿道內務部

謝近火御見舞 仁川海岸町 高杉昇

謝近火御見舞 仁川本町三丁目 共榮社 綱木仙吉

謝近火御見舞 仁川本町二丁目 田中良助

謝近火御見舞 仁川本町二丁目 平山末吉

謝近火御見舞 仁川本町二丁目 竹田津三平

謝近火御見舞 仁川本町二丁目 奧田貞次郎

謝近火御見舞 仁川本町二丁目 久野勝平

謝近火御見舞 仁川本町二丁目 加來榮太郎

謝近火御見舞 仁川本町三丁目 鈴木慶藏

謝近火御見舞 仁川本町二丁目 町田文次郎

鈴木製造 最新流行 新荷着

第一號定價 金拾五圓 鈴琴 第二號定價 金拾七圓

鈴琴は歐米諸國に於て數百年前より流行しつゝある所の樂器ギターノ音柱を去り其構造を摺略して日本音樂を奏す取りやう改良を加へたるものにして能く四條とし調律法は三味線に倣ひ本調子二上り三下り等に調絃し長唄上方唄淸元富本一中歌澤及び常盤津淸元琵琶義太夫等我國の俗諸俗曲を彈奏し得らるゝ三味線に異ならずして而も其の音質は三味線の如く卑俗ならず高雅優美にして音に富み急調緩調琴を彈ずるが如く我國の俗曲も此の鈴琴を以て能く其粹を彈奏し得べし……一家團欒の好伴侶として座右に備へしめられんことを

京城本町二丁目 日韓書房 電話一四五五番 振替一一五番

繁榮會御指定 幟提灯申込所

今般繁榮會の御指定に依り十二月一日より御執行に相成候大賣出し既定の幟及軒提灯は弊店等に於て引受け申候就ては準備の都合有之候間大至急御用命の程偏に希上候

申込所

京城本町五丁目 電話一九八五番 龜屋染工場

京城明治町一丁目 傘提灯商 大嶋商店 電話一六三五番

眼科専門

京城本町六丁目(元軍司令部通り) 金井眼科醫院 電話一五五六番

大韓醫院眼科部長 金井豊七

競賣廣告

一 書畫骨董品其他珍器

右成行値段を以て競賣致候間陸續御來場被成下度奉願候 頓首

○十二日正午十二時ヨリ競賣開始仕候 但シ同日午前中下見御隨意

賣立元 大連 三考堂

南大門通三丁目

明治四十四年十一月

京城競賣株式會社 電話七百八十四番

●諸公債諸株券 現物賣買

迅速確實に御取扱可申候

兼業 洋服製造卸小賣 諸官衙御用達

京城本町三丁目

大阪野村德七代理店

田中友吉商店 (電話...)

りん病患者に警告す

サンタールが淋病に特効ある事は今や天下の認識する處となれり而かも本剤は御より誇大なる廣告を爲さず偏り其卓抜なる薬効に依頼して一般の信用を博するに至れるは弊店の誇とする處なり

抑も淋病の如き疾患は其薬效の見易きこと恰も外科醫手術の巧拙と均しく患者自身に於て直に軽快を自覺すると否とに由り容易に判斷することを得るを以て何人と雖も之を欺くに由なし而して市上淋病の特効薬と稱するもの枚擧に遑あらずと雖も獨りサンタールが其名聲を擅にする所以は

登録商標 りん病 複大学病院方剤 サンタール SANTAHL

高貴なる薬効が幾多淋病薬中一頭地を抜くものあるが爲めに外ならず

●本品獨特の長所

本品は内服して一種の化學的變化を起し膀胱の防腐殺菌液となり尿と共に排泄せられ自然の洗滌法となるを以て淋病菌を其根底より驅逐するにはサンタールの外又良薬なし

定價 悪性痼疾用特製分三圓五十錢、急性用三週分一圓八十錢、輕症用二週分一圓二十五錢、一週分六十五錢、小包郵送

京都市二條通木屋町 振替大阪三三四番

本舗 薬學得業士 濱田北辰堂薬局

代理店 京城南大門通三丁目 新井薬房 電話九百四番 振替口座京城千六十八番

神經をしづめ 脳病を全治す

島村醫學博士の有効證明を得たる健脳丸は脳病、神經病に奇効を奏し逆上を引下げ、便通を順能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき脳充血を全治す

脳病全治新薬

健脳丸(けんのうぐわん)

記憶力悪き人 頭痛する人 神經衰弱にて氣分鬱ぐ人 常に脳神經を勞する人の必用薬は獨り本剤のみ也

(定價 一日分十錢、三日分廿錢、七日分四十錢、二週分八十錢、五週分金三圓)

本舗 大阪心斎橋二丁目 丹平商會薬房
分店 大阪平野町堺筋北 丹平商會分店
支店 東京日本橋通 丹平商會支店
◆發賣所は全國有名薬店に缺かず

御紋付用白地並に染物

京都たまや出張店

京城永楽町二丁目 電話二一九六

御用向の節は電話又はハガキにて御一報次第種々見本取揃へ早速御伺可仕候 地方御注文の方様へは便宜上見本送付申上候

防腐剤の入らぬ壜詰は我白鶴のみです

一度御試驗被下たし

特約店 京城本町 前田酒店 電話三七番 田中支店 電話七六四番

營業項目

牛乳搾收業 家畜飼養繁殖 畜産物賣買 家畜飼糧販賣 種牛種付及貸牛 其他畜産業一切

京城南大門外 荒井牧場 (電話一〇五六番)

江華島 荒井第二牧場

○牛乳販賣は京城牛乳一手販賣所へ委托致候間從來通御用命奉願上候
○洋牛及朝鮮改良種多々飼養致候間御賣求奉願上候

資本金五百萬圓 本店東京市日本橋區吳服町

東洋拓殖株式會社京城出張所

一、土地建物抵當貸附
一、月賦償却建物建築

京城旭町二丁目 電話一一六八番

京城明治町一丁目(森、村質店隣)

榊商衛所

電話ヨ(六六九番)へ

新荷着

厚物 薄物 鐵板 各種 浪板 平板 各種 垣用線

和洋金物商 彥 京城本町貳丁目 佐野彥藏商店 電話一六三番 振替口座京城一二〇番

仁川米豆株式

△賣買は秘密に確實を旨とし敏速懇切に取扱申候
△相場は日々入電御望の方へは電話にて御報申上且引け后は無代にて日報高低表配付仕候

京城古市町、南大門停車場前 合資會社 山柴山組 電話二一九八番 電話一六八八番

千葉縣野田町 茂木七郎右衛門釀

釀造の進歩

最上醤油 木白(キハク印)

東京時事新報記者が東京野田間輕便鐵道開通式に參列し野田醤油釀造の實況を視察し其報告を野田町の發展と題して本年五月十四日より同廿日迄の紙上に連載したる其中に曰く人口一萬足らずの土地に醤油釀造家十一軒にして職工四千人の多數を有し最近一年間の産額三十二三萬石其中産額の最も大なるは茂木七郎右衛門氏の木白(キハク)にして之に次くは茂木佐平治(龜甲萬)以下八軒(各氏名記」の順序なりと云ふと記し尚醪(モロミ)の製法を研究し記して曰く五十石以上六十五石を容るゝ高さ六尺乃至八尺に余る大桶幾千本の醪を毎日三四回攪拌するに人力にては到底隅々まで行渡らさる虞れあるを以て木白に於ては空氣攪拌機とて空氣の力にて桶を攪拌する裝置を爲し日本全國の醤油釀造家は何れも此例に倣はんとし居れり…野田町の事情に通ずるものは木白が醤油の一般の定評ある所以を知るべし上品の醤油は野田の木白なることを確保し得べし…へ一合瓶入無代進呈の準備あり御試味の程を…弊店に御用命は幸甚

京城特約店 京城明治町一丁目 牧野豐田商店 (電話二百五十三番)

京城太平町二丁目

▲迅速叮嚀▼ 活版印刷 ▲價格低廉▼

電話千百五十四番

鮮明社

懐中良薬

消化と毒けし 仁丹 JINTAN ジンタン 인단

(實寫圖)

●益々大好評の此鏡付容器は仁丹の五十錢包に一個添へてある

此處から仁丹三粒づゝ出ます

イザ御需あれ

朝鮮代理店 京城南大門通三 新井薬房

日本蓄音器 朝鮮音譜 各種品揃

音譜目録無代進呈

地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御送附可仕候

大聲發音器

日本蓄音器商會 朝鮮總代理店

京城本町 歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商 辻屋 電話二四八番 振替口座八七番

鳥網

雀用 五間 四圓五十錢
鳩鶉用 八間 四圓
鴨用 十二間 四圓

地方よりの御注文は小爲替又は小包郵便代金引換にて御送り致す
京城明治町一丁目 網京商店

新荷着

●各火鉢 ●帳簞笥 ●膳戸棚
●鏡台 ●針差 ●鐵金庫
●テーブル ●椅子 ●机

家具、漆器、唐木製品、諸金物類、柳行李、諸荒物類 其他日用世帯道具一式

弊店は總て内地製造工場と直接特約致居候へば非常なる廉價にて小賣も卸直を以て御賣捌に應可申候間多少共御試買之程願上候

仁川港新町一丁目(西北角) 津田兄弟屋 電話七六九番 振替口座京城三八二番

本場精撰 茶

右銘茶各種新物續々入荷に付御小賣にも大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候

仁川本町四丁目(府廳通) 田中芳春園 電話四五〇番 振替京城五〇二番

最上醤油 最上

特約販賣 仁川京城 高雄支店

芙江 公州間 定期出帆

芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時半
船内御客様の娯樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり

京釜線芙江驛前 中條運送芙江支店

十一月中 滊船出帆廣告

安來丸 濟州島行 十一月九日前九時
天草丸 海州行 十一月十三日前六時
三省丸 屯串行 十一月 日前十時
海利丸 海州行 十一月 日前五時
安來丸 大湖芝行 十一月十四日前十時

仁川本町四丁目電話一七三番七一〇
合資會社 秋田商會船舶部